

便失禁が心配で
外出が億劫だ

仕事や学校を休むなど
日常生活に支障をきたすほど
悩まされている

重度な**排便**の悩み 抱えていませんか？

自分の好きな
タイミングで
排便ができない



脊髄の病気が原因で
排便のお悩みがある方へ



排便障害とは

大腸や肛門など、排便に関する身体機能に障害が生じ、
「便秘」や「便失禁」といった症状が出ることをいいます。

排便管理ができない



排便に費やしたり、
思い悩む時間が増加する



生活の質が著しく低下



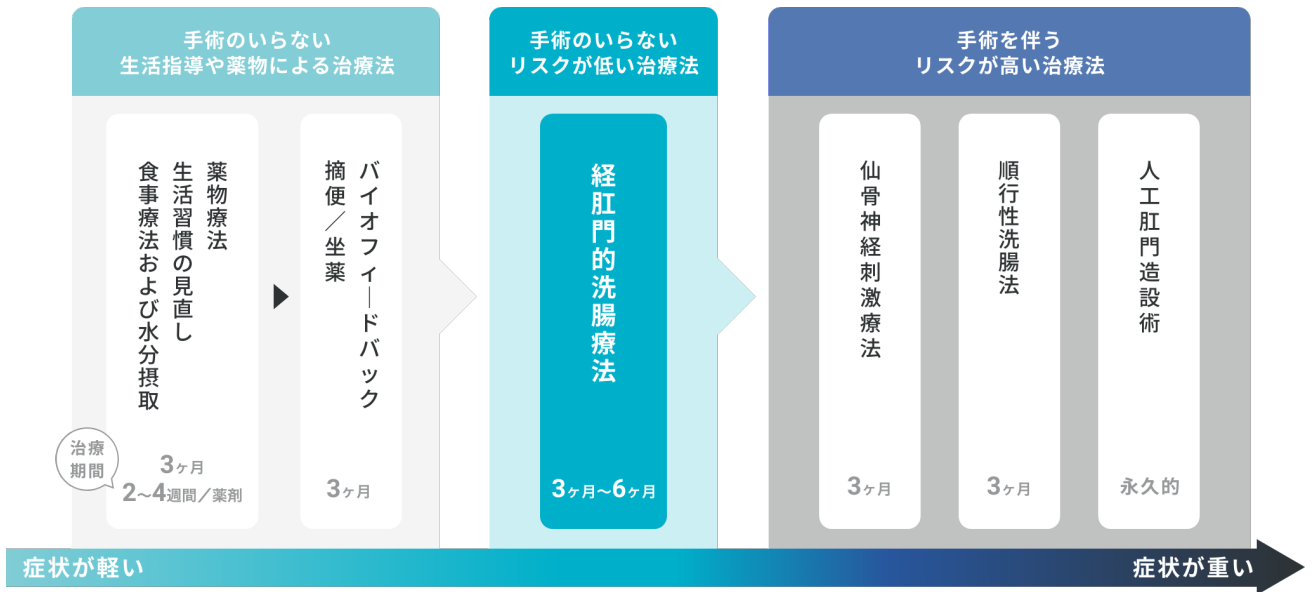
便失禁や便秘などで困っているのは、 あなただけではありません。

実は、**脊髄障害の半数以上の方が、排便の問題に悩まされている**ことをご存じですか*。
とてもデリケートなことなので、相談しづらく、不安になるかもしれません。しかし、同じ悩みを抱えているのはあなた一人ではありません。その排便の悩みを改善・解決する治療法があります。一人で悩まず、まずは治療の一步を踏み出してみませんか。

*参考：脊髄障害による難治性排便障害に対する経肛門的洗腸療法（transanal irrigation：TAI）の適応および指導管理に関する指針
*参考文献：加藤真介、仙石淳、乃美昌司、能登真一。ウェブベース調査による日本での神経因性腸機能障害の実態調査。日本脊髄障害医学会雑誌。2017;30(1):46-50。

排便管理の治療について

治療期間とは、それぞれの治療に効果があるかを評価するのに必要な期間を言います。この期間継続しても効果がない場合には、別の治療法への切替を考えるタイミングです。効果がある場合には、この期間以上に継続されることもあります。



参考文献：

Emmanuel A. Chronic constipation: building pathways for better bowel management. British Journal of Healthcare Management. 2020. <https://doi.org/10.12968/bjhc.2020.0072>

治療の流れについて

治療のステップに従って、先生や看護師さんと一緒にご自身に合う排便管理の方法を見つけてください。

治療のステップ

Step1



排便日誌を記入して、ご自身の症状を確認してください。

Step2



かかりつけ医または看護師さんに排便日誌を見せて相談してください。

Step3



3ヶ月以上の初期保存的療法を行っても症状が改善しない場合には、次の治療として経肛門的洗腸療法を紹介してもらうことができます。

経肛門的洗腸療法の実施施設一覧

掲載している施設は、経肛門的洗腸療法を実施している施設です。最初に医療機関にて、経肛門的洗腸療法の治療が必要かどうかを判断した後に治療に進みます。

公的医療保険について

経肛門的洗腸療法は、公的医療保険が適用になっていますが、対象となる方は、下記の2つの条件を満たした方のみとなっております。

1. 3か月以上の保存治療によっても十分な改善が得られていないこと
2. 脊髄障害を原因とする排便障害（直腸手術後でないこと）

経肛門的洗腸療法の実施施設一覧へアクセスするには、QRコードを読み込むか、「スッキリ排便.jp」と検索いただくか、下記のURLから直接アクセスしてください。



URL : <https://www.sukkirihaiben.jp/search/>

▼ お近くの病院をご確認ください。

